

SHOWA GAKUIN 昭和学院

昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171~5

<http://www.showa-gkn.ed.jp/js/> FAX 047-326-5310

昭和学院 広報

第30号

2019.3.22(金)

平成30年度 卒業証書授与式



答辞を述べる前原大輝君

3月5日(火)、平成30年度第70回高等学校卒業証書授与式が、本校メインアリーナにて挙行された。前日の雨は止み、卒業生408名の門出を祝福するような春の暖かさであった。式に先立ち卒業生は、第3アリーナでクラスごとに輪になり校歌を練習した。昭和学院生として最後の日を囁み締めているようであった。

緞帳が上がり、司会の「卒業生入場」の言葉で吹奏楽部の演奏が始まった。在校生や多くの保護者、来賓に見守られながら、担任を先頭に卒業生が颯爽と入場してきた。開式の辞、国歌・校歌斉唱に統いて卒業証書授与が行われた。担任の呼名に対し、卒業生一人ひとりの大きな返事が響き渡った。3年間、あるいは6年間の思いが詰まった返事である。そして、総代の小池辰典君に卒業証書が授与された。その他の表彰でも、被表彰者の所作は美しく、代表を務め上げようとする姿は堂々として立派であった。卒業生一人ひとりに向けて、学び続けることの大切さや今後の活躍を期待する式辞が大井校長より述べられた。また、来賓代表として山本理事長、奨学会山崎会長の代読で木下副会長より激励の祝辞をいただいた。これらの訓示は、新たな世界へ旅立つ卒業生の胸に刻まれたことであろう。



▲ 総代の小池辰典君

校生代表送辞は、生徒会長の長濱雄大君から先輩方への感謝の気持ちが溢れるものであった。それを受けて前原大輝君の答辞は、高1のフレッシュマンキャンプで肩を組んで校歌



▲ 卒業生を見送る先生方

を歌ったこと、高2の桜和祭で試行錯誤しながらメニューを決め、協力し合い模擬店を成功させたことなど、3年間を振り返り、先生・保護者・友人そして後輩への感謝が述べられていた。同じ時を過ごした仲間の言葉に自分を重ね、多くの卒業生は目に涙を浮かべていた。しかし、本学院を巣立って行く自信や目標がしっかりととした口調で述べられると、顔を上げて前を向き、みな思いを新たにしたようで、卒業生の強さと頼もししさを感じた場面であった。卒業の歌は、昨年同様「旅立ちの日に」。卒業生の指揮と伴奏のもと、在校生と共に心を込めた最後の素晴らしい歌声であった。卒業生が退場する際、立ち上がった卒業生から一齊に壇上の担任へ「感謝の言葉」が送られた。それは担任と卒業生との絆を感じさせる瞬間であった。参列した誰もが感動した心温まる卒業証書授与式であった。

式後は各教室で保護者が見守るなか、担任より一人ひとりに卒業証書が手渡された。受験や就職活動という人生の大きな試練を乗り越え、自立に向かって歩み始める生徒たちの顔は、自信と希望に満ち溢れていた。



▲ 最後のクラス写真

SHOWA GAKUIN

創立80周年記念事業



SHOWA GAKUIN
SINCE 1940

▲ロゴデザイン

2020年に学校法人昭和学院は創立80周年を迎える。創立者であり市川市名誉市民である故伊藤友作は、昭和15年戦時下にあった苦難の時代を経て、理想の教育を求めて千葉県市川市東菅野の地に「昭和女子商業学校」を設立した。現在、新たな時代を迎える中で、社会が求める子どもたちの学力観も大きく変わりつつあり、昭和学院がどのような教育を提示できるのか、今、大きく問われている。

2020年に迎える80周年記念事業を構想するにあたり、準備委員会では「過去、現在から未来」というテーマを掲げた。現在在学中の児童、生徒、学生たちが社会の中心になって活躍している2040年(創立100周年)に向けた教育改革を進めるきっかけでもある。昭和学院の歴史を振り返り、短期的な目標だけではなく、未来を見据えて教育活動を実践することの大切さを再確認するための記念事業である。私たちは「時代が求める教育がどのようなものであるべきか」を考え続ける学校であり、教職員でなければならぬと考えている。

具体的な取り組みは、①80周年記念式典・祝賀会の実施、②昭和学院ブランドの再構築、③2040年に向けた教育改革、④記念誌の発行などを予定している。特に、シンボルとし



▲2/20のSGアカデミー

合唱コンクール



▲グランプリの2-H

2月13日(水)に、メインアリーナにて校内合唱コンクールが行われた。初めて生徒会主体の運営であったが、スムーズに進行することができた。そして、例年以上に盛り上がり、甲乙を付けるには悩ましいほど、レベルが高くなっていたように感じた。来年も、更に盛り上ることを期待したい。

高等学校

グランプリ	2-H
準グランプリ	1-A
ブランボー賞	2-H 1-B
グランプリ	3-2
ブランボー賞	3-2

中学校

新 生 徒 会



12月5日生徒会選挙が行われ、新役員が選出された。会長の長瀬君は「今期生徒会の目標は一人ひとりが楽しめる学校行事の計画・実行です。新たに球技祭を実行すべく、努力していきます。充実した学校生活になるよう、生徒会一同頑張りますので、ご協力よろしくお願いします。」と、意気込みを語っている。



て「ロゴデザイン」を活用することで地域社会に対する発信力を強化していく。ロゴデザインのコンセプトは「人と太陽」。どのような時代になんでも変わってはならないこと、変わらなくてはならないことを、柔軟に判断・実践できる人間力を育む「昭和学院の教育」というメッセージがこのデザインには込められている。

この他に各校独自のものとして、中学・高校ではICT機器の整備や全館LED化。平成30年度より実施し、各方面で活躍されている方による講演の〈SGアカデミー：未来講座〉。そして〈新制服採用〉も記念事業の一環である。新たな制服は、これから昭和学院を象徴する機能的で親しみのあるデザインとなっている。

創立80周年への様々な準備は始まっており、2040年に向け新たな改革がスタートしている。

中学校 ビブリオバトル

2月23日(土)第1限、中学校ビブリオバトルがメインアリーナにおいて行われた。各クラスの代表が自分の紹介したい本を持ち寄って、その本の魅力を自分の言葉で紹介した。出場した生徒たちは、長い道のりを歩んできた。中学校では毎朝20分間の「朝読書」に取り組み、自分が紹介したい本を選んだ。1学期末にクラス内でビブリオバトルを行い、2学期末には冬期休暇課題として読書カードを作成した。そして3学期は、各クラスの代表を決める予選を行い、生徒たちの投票をもって代表が選出された。クラスの代表として出場した生徒は、皆一様に生き生きと自分のおすすめ本を紹介していた。後の質疑応答の時間では全校生徒から積極的に手があがっていた。出場生徒全員の発表後、投票によりチャンピオンに選ばれたのは、3年2組河野



嘉秀君が発表した『告白』(湊かなえ)であった。河野君は、3月24日(日)に「よみうり大手町ホール」で行われる「第2回全国中学校ビブリオバトル決勝大会」に出場予定だ。



▲ビブリオバトルの様子

会長	長瀬 雄大	(2G)
副会長	小谷 中翼	(2H)
記録会	戸田 涼翔	(1E)
記録会	吉原 すみれ	(2C)
会計監査	田口 陽風	(1J)
会計監査	關水 智美	(2K)
会計監査	ダーリング 希香	(1I)
会計監査	松浦 陽香	(2H)
会計監査	松浦 陽香	(1A)

SHOWA GAKUIN

表彰者

今年度行われた学内行事、及び学外でのコンクール等で表彰されたみなさんを紹介します。

第29回伊藤園お~いお茶新俳句大賞

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 佳作特別賞 | 鈴木 真帆 (3-3) | 古川 七菜子 (1-E) |
| | 大江 鞠奈 (3-G) | 原 一真 (3-L) |
| 佳作 | 小林 慶太 (2-2) | 山本 晴寿未 (2-2) |
| | 田中 采良 (1-D) | 宮代 花菜 (2-A) |
| | 長谷 一樹 (3-E) | 長嶋 海樹 (3-J) |

夏休み作品展

会期：9月23日～26日

校長賞

- | | | |
|-------|---|--|
| 書道科 中 | 國安 真優 (1-4) | |
| 高 | 峯崎 琳子 (1-E) | |
| 美術科 中 | 『物事の欠片』
(写真集)
伊藤 彩果 (3-1) | |
| 高 | 『へんなやつとサボテン』(絵画)
『スーパー・フラット』吉岡 珠里 (1-H) | |
| 家庭科 高 | 『刺し子のランチョンマット』(手芸)
佐々木 菜摘 (2-C) | |
| 技・家 中 | 『災害用折りたたみ式簡易トイレ』(複合作品)
國竹 翔太 (2-3) | |
| 社会科 中 | 『大日本帝国から日本国 昭和20年の中学生へ』(レポート)
櫻井 晓 (2-2) | |
| 理科 中 | 『トマトの皮で傘をつくろう』(自由研究)
石井 里佳 (1-1) | |
| 高 | 『養老渓谷における生態調査 8年目・夏』(自由研究)
丸山 拓真 (2-K) | |

第64回青少年読書感想文千葉県コンクール

- 課題図書『車いすラッキー：捨てられた命と生きる』
小林照幸著(毎日新聞出版)
- 高等学校の部 **佳作** 中山 里咲 (1-A)
「人間と動物の向き合い方」

朗読コンテスト

学内本選：2月15日



▲ 1位の河野君と阿保さん

中学校

- | | |
|-----------|------------|
| 1位 | 河野 嘉秀(3-2) |
| 2位 | 土田愛日奈(3-4) |
| 3位 | 原子 依楓(1-1) |

高等学校

- | | |
|-----------|------------|
| 1位 | 阿保優里花(2-C) |
| 2位 | 岩澤 円花(2-E) |
| 3位 | 坂脇 海翔(2-H) |

書初め展

会期：1月31日～2月1日

千葉日報社賞

- | | |
|---|--------------|
| 中 | 塙本 ひかり (2-3) |
| 高 | 小越 郁音 (2-C) |

校長賞

- | | |
|---|--------------|
| 中 | 関 祐明 (3-4) |
| 高 | 山本 柚菜春 (2-L) |



スピーチコンテスト

学内本選：6月19日

- | | | | |
|--------|--------------------------|----------------|---------------------------|
| 中1部門 | 1位 小高友也 (1-1) | 中2部門 | 1位 山本碧渚 (2-3) |
| [参加8名] | 2位 田村伊織
+ 御園麟太郎 (1-2) | [参加4名] | 中3部門 1位 野上琢真 (3-1) |
| 5組 | 3位 本郷まりも (1-4) | [参加6名] | 2位 圓城寺彩乃 (3-3) |
| | | 3位 青山日菜乃 (1-B) | |
| | | 4位 岩澤円花 (2-E) | |



*小高君、山本さん、野上君は9月19日に行われた市川市英語発表会に出場し、中3〈暗唱の部〉で野上琢真君が**2位**に入賞。

大山さん、五十嵐さんは10月3日、市内各校の代表40名が参加した千葉県高等学校市川地区英語コンテストに出場。

高1《レシテーション部門》で大山幸奈さんが**優勝**し、11月16日に行われた下記大会に出場しました。



第70回 千葉県高等学校生徒英語研究発表大会

4位 大山幸奈 (1-D)

*この大会での入賞は21年ぶりの快挙です。

第62回全国学芸サイエンスコンクール

自然科学研究部門 (応募数880部)

旺文社赤尾好夫記念賞 (銅賞)

丸山 拓真 (2-K)



『養老渓谷における生態調査 8年目・夏
(特にシマドジョウについて)』

*本コンクールでは、中学校高等学校ともに**学校奨励賞**を受賞。高等学校は**フジテレビ学校特別奨励賞**も受賞。3月8日(金)にはホテルオークラ東京で表彰式・祝賀パーティーが開催されました。

中学校 百人一首大会

大会日：2月6日



優勝

1年1組 2年2組 3年1組

2位

1年3組 2年1組 3年3組

個人賞

《最優秀賞》 櫛田 茉那(1-1) 大塚 愛(1-3) 藤林 美陽(1-3)

《優秀賞》

- | | | | |
|-------------|--------------|------------|------------|
| 角田 帆華(1-4) | 森岡 琉 (1-4) | 大熊 美来(1-1) | 峠越 直也(1-3) |
| 石田 青天(2-1) | 根元 美栞(2-2) | 塙原 葵衣(2-4) | |
| 安嶋 義之(2-1) | 鈴木 愛子(2-2) | | |
| 原 菜摘(2-1) | 西山 なつみ(2-3) | | |
| 杉山 奈々子(3-1) | エズゴ 梨々杏(3-2) | | |
| 吉川 真梨花(3-1) | 花島 百香(3-3) | | |
| 深作 未来瑠(3-3) | 星 紗菜(3-4) | | |



SHOWA GAKUIN

活躍する部活動

● バスケットボール部(女子)



soft bankウインターカップ2018・平成30年度第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会が12月23日～28日に、武藏野の森総合スポーツプラザで開催された。本校は1回戦から出場し順調に勝ち進み、準々決勝の対戦相手は夏のインターハイで逆転負けをした桜花学園との再戦。リベンジに燃える選手達は第1ピリオドから星、大竹、西江が強気で攻め込み続けた。一進一退の攻防が展開された第4ピリオドで黒澤の3ポイントが決まり、わずかに得点を引き離した。残り2秒、相手のボールとなり、夏の悪夢が過ぎたが75-73で勝利した。選手達の頑張りに心から感動した。準決勝は大阪府代表・薫英高校との対戦。昭和のペースで展開したが、第3ピリオドに相手チームのディフェンスの変化に対応出来ず試合終了、61-64で惜敗した。3位決定戦の相手は石川県代表・津幡高校。この試合が3年生には最

Winter Cup2018 第3位



▲個人優秀選手に選ばれた星さん(左)キャプテンの松本さん(右)

後の試合。怪我の無いようにを努めて戦いに入った。第3ピリオドはじめに18点差を付けられたが、応援席から聞こえる大きな声援に後押しされ、選手達は奮起し、一気に点差を縮めた。第4ピリオドは昭和らしく戦い70-66で勝利、第3位となった。全国制覇は逃したが、選手たちの努力で勝ち取った第3位という結果は、今大会で日本一成長したチームだと感じさせてくれた。最後に校長先生をはじめ、先生方、多くの生徒、保護者の皆様には年末のお忙しい中、連日に渡り、ご声援を頂き誠に有難うございました。



バトン部

第46回バトントワーリング全国大会が12月8日幕張メッセで行われ、関東代表として出場しました。今年度の目標の「中高共に出場」を果たすことができました。昨年に引き続き出場した高校生は、金賞を目指に技術の向上だけでなく、曲のイメージを共有する何度も話し合いをし、練習してきました。中学生は初心者が多いなか、気持ちを一つにして精一杯の演技をすることができました。結果は中高共に銀賞でしたが、これまで一番良い演技ができました。



▲バトン全国大会にて

書道部

日々の練習の成果を「各種公募展」に出品し力を試しています。今年度の主な受賞は、第60回大東文化大学全国展で優秀団体賞、個人では大東書道大賞を高橋茉莉さん(中2)が受賞。第67回大正大学全国書道展で団体奨励賞、個人では心正堂賞に竹本あかねさん(高3)、笠井却築賞に小越郁音さん(高2)が入賞。また書の甲子園と言われる第27回国際高校生選抜書展に竹本あかねさんが入選。今後は、中学生は書写技術の向上と基礎基本の徹底、高校生は自分の求める書の表現を追及しさらに上位の賞を目指し努力します。



▲半紙練習する部員

放送部

放送部は中学生と高校生が協力し、各種行事への協力・毎週水曜日の全校TV放送「学院ニュース」などの幅広い活動を行っています。本年度は中学生が「朗読部門」「アナウンス部門」でNHK杯全国大会進出・「ラジオ番組部門」において全国大会優良賞を獲得、またバラエティック取材で作成した「車いすフェンシング」の紹介動画が、パナソニック主催のコンクールで佳作を獲得…と結果を残しました。これからも番組制作や読みの技術を磨いていきます。



▲校内TV「学院ニュース」放送中

弦楽部

今年度は2つの嬉しいことがありました。8月に長野県で行われた「全国高校総合文化祭」に、本校の文化部で初めて千葉県代表として演奏し文化連盟賞を受賞。そして年度後半は、管弦楽日本一の幕張総合高や吹奏楽全国上位の市立習志野高等が出演する「管弦楽コンペティション」に照準を合わせ、1月に行われた大会で初めて金賞と連盟理事長賞(2位)を受賞しました。信じられない嬉しさです。今後も引き続き、皆で良い演奏を目指していきたいです。



▲全国高校総合文化祭にて

ダンス部

第6回日本ダンス大会、第6回全国高等学校ダンス部選手権決勝大会(DCC)に出場しました。大会には第1回～第6回まで予選を勝ち抜き連続出場しています。なお、日本ダンス大会において審査員特別賞「岩井智子賞」を受賞することができました。また、新たに振り付けのコーチを迎え、今までにない演技をつくり上げることができました。今後は、各大会でのこれまで以上の入賞と、人間力の向上を目指していきます。



▲日本ダンス大会にて

演劇部

今年度は中学生が入部し、高校生と一緒に活動しています。10月5日の「千葉県高等学校第3地区秋季演劇発表会」で、岩澤円花さん(高2)が最優秀演技賞を受賞。10月12日には千葉市で開催された「2018地域防犯ボランティア県民大会」で矢島愛実さん(高3)作成の台本『電話de詐欺にあわないために』を披露。千葉県警と千葉県防犯協会からは感謝状を頂きました。さらに2月6日の「いちかわ市民防犯講演会」でも披露し好評でした。来年度も精力的に活動していきたいです。



▲2018地域防犯ボランティア県民大会にて

SHOWA GAKUIN

春の全国選抜大会など

高校 新体操部 塩屋恵美子

第34回全国高等学校新体操選抜大会

鳥取市民体育館

3月21日(木)~23日(土)*23団体

代替わりをして初の全国大会となる。3年生が残した全国制覇は過去の栄光である。新メンバーには全国制覇メンバーは誰もいない。残してくれた栄光をプレッシャーに感じるのではなく、誇りを胸に、悔いのない演技をして欲しい。



中学 ソフトテニス部 高原良江

平成30年度第30回都道府県対抗全国中学校ソフトテニス大会

三重県営サンアリーナ・伊勢

3月26日(火)~3月28日(木)

千葉県選抜メンバーとして、男子2名女子6名が全国大会に出場することを大変光栄に思います。コートの中では元気いっぱい明るく粘り強くガツツのあるプレイをして上位を目指します。皆様応援よろしくお願いします。



奨学会だより

登校時の活動

2月2日(土)7時40分から8時10分まで、厚生補導部による登校時の活動が行われた。これは挨拶の推進と生徒の登校状況を把握・指導することを目的とし、年2回実施されているものだ。寒い中ではあるが、挨拶を交わすことで心が温かくなったり、成長を感じたり、生徒とのちょっとしたやり取りを楽しむことができる活動となっている。高校3年生の役員はじめ、多くの皆さんに参加いただき、感謝している。来年度も実施する予定である。



▲活動の様子

部会・常任理事会開催

第3学期の部会・常任理事会が2月23日(土)に開催された。今年度の活動を振り返るとともに、来年度、奨学会の活動を更に活発にしていくための話し合いだ。部会での活動報告をうけ、常任理事会では奨学会主催の講演会、部の名称、制服についてなど様々な議題も提案され、議論が交わされた。会は熱気に満ちた中、閉会となった。



▲常任理事のみなさん

高校 ハンドボール部(女子) 佐藤夷吉

第42回全国高等学校ハンドボール選抜大会

市川市国府台体育馆 他

3月24日(日)~3月29日(金)

今大会に向け、新チーム発足時より確かな技術・戦術力、フィジカル面などを強化してきました。昨年度はあと一歩のところでメダルを逃したので地元の声援を力に変え、自分たちのハンドボールで上位進出を目指します。



高校 体操競技部 佐布恵美子

第35回全国高等学校体操競技選抜大会

山口県スポーツ文化センター

3月23日(土)~24日(日)

大会には、高校1年佐藤紗雪が出場します。個人戦であり、初の全国大会出場となります。

美しく正確な演技を期待したい。自分を信じ笑顔の演技で、観客を魅了して欲しい。



中学 バスケットボール部(女子) 一関智子

第32回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2019

市川市塙浜体育馆 3月28日(木)

武蔵の森総合スポーツプラザ3月29日(金)・30日(土)

千葉県選抜チームに本校からは中学校2年大城なみえさん、野本朱莉さんが出場する。

「本年度で最後になる都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会です。千葉県代表として一戦必勝で戦います。」と抱負を述べている。



奨学会の活動を通じて

奨学会で活躍されている、山崎会長、井田総務部長、古山文化教養部長に今年度の活動について話を聞きました。

Q1 印象に残っている活動は何ですか?

山崎：桜和祭の奨学会による展示とバス研修旅行ですね。桜和祭の展示室は毎年、右肩上がりに来場者数が増え、ものづくりコーナーは大盛況でした。研修旅行も過去最多79名の参加者でした。

井田：総務部理事の皆様には、どの行事も積極的に参加いただきました。懇親会、桜和祭、バス研修旅行などの行事を大盛況で終えることができました。私自身も楽しく活動できました。

古山：やはり文化講演会の企画・運営ですね。活動を重ねるごとに部内の連帯感が強くなり、充実した活動になりました。来年度もこの活動に参加したいという言葉もいただき、大変嬉しく思いました。



Q2 活動する上で学校・先生への要望はありますか?

山崎：資料などを活用し、各部の活動内容が会員の皆様に伝わるよう、説明していただきたいなと思います。

古山：文化講演会の当日、お手伝いしてくださる理事さんが多くいると助かります。選出するときに一言添えてもらえると有り難いです。

Q3 奨学会会員の皆様に一言お願いします。

山崎：今後も会員の皆様に魅力ある企画をお届けできるよう活動して参りますので、ご理解、ご協力と、そしてご参加いただきますようお願い申し上げます。

井田：多くの役員の方が、「引き受けたよかったです」と1年の終わりに言って下さいます。年に数回の活動ですが、学年を超えた繋がりもでき、翌年も活動に参加される方が本当に多いです。皆様にも積極的に参加していただければ嬉しいです。

古山：文化講演会は生徒と一緒に聴く講演会で、家庭でも話を共有することができます。ぜひご参加下さい。また、奨学会理事になると先生と会う機会が多くなり、学校での自然な子どもの様子を見る事ができます。奨学会の企画で活動内容を理解いただき、ご一緒できたら幸いです。

ありがとうございました。奨学会がより充実したものになる様、協力していきましょう。

主な合格状況

(3月9日現在)

四年制大学

<国公立大>

千葉大	1	東京電機大	3	千葉科学大	1
東京海洋大	1	武蔵大	6	千葉工業大	34
首都大東京	1	神田外語大	6	千葉商科大	2
茨城大	1	大妻女子大	3	中央学院大	11
都留文科大	1	共立女子大	2	帝京科学大	7
弘前大	1	駒沢女子大	2	帝京平成大	18
		実践女子大	4	桐蔭横浜大	1
		昭和女子大	4	東京有明医療大	2
		清泉女子大	1	東京医療保健大	12
		愛知学泉大	1	東京家政大	3
		跡見学園女子大	2	東京家政学院大	3
		江戸川大	5	東京経大	1
		桜美林大	2	東京工科大	7
		大阪芸大	1	東京工芸大	1
		青山学院大	3	東京情報大	5
		開智国际大	4	神奈川大	4
		立教大	4	東京成徳大	2
		中央大	2	川村学園女子大	1
		法政大	9	東京富士大	1
		津田塾大	3	関東学院大	1
		日本女子大	3	東都医療大	8
		聖路加国际大	1	東洋学園大	7
		日赤看護大	1	共栄大	1
		國學院大	4	新潟食料農業大	1
		明治学院大	3	工学院大	3
		成蹊大	1	二松学舎大	1
		成城大	1	国際医療福祉大	2
		獨協大	2	日本医療科学大	2
		武藏大	1	国際武道大	3
		東京農大	7	埼玉医大	1
		東邦大	11	秀明大	1
		順天堂大	6	十文字学園女大	4
		日本大	17	淑徳大	7
		東洋大	12	松蔭大	1
		駒沢大	5	城西大	1
		大東文化大	5	城西国際大	5
		東海大	2	湘南工科大	1
		亜細亜大	3	女子栄養大	1
		帝京大	11	聖徳大	9
		国士館大	5	仙台大	1
		杏林大	2	創価大	1
				大正大	7
				立正大	2
				流通経済大	13
				明星大	1
				目白大	6
				白鷗大	1
				北星学園大	1
				明海大	9
				山梨学院大	1
				大正大	2
				龍谷大	1
				了徳寺大	3
				和洋女子大	14

短期大学

専門学校

昭和学院短大	15	星美学園大	1	千葉医療附看護	1
大妻学院女短大	2	帝京短大	1	日本大医附看專	1
共立女子大	3	戸板女子短大	1	日本松戸歯附	1
聖徳大短大	1	東京交通短大	1	他	

就職

警視庁警察学校、JX-ENEOS、ドコモショップ、京成電鉄、コジマ、社会福祉法人秀考会

述合格数

4年制大学 451 短期大学 25 専門学校 46 就職 6

進路を振り返って



▲進路指導部長
山崎尚子教諭

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これから始まる新しい生活に向か、夢と希望で胸を膨らませていることだと思います。今年度、高3在籍生徒数は408名。推薦・AO等の受験方式での四年制大学合格数は、早稲田大学、青山学院大学、立教大学など、合計で151校となり高3全体の37%に当たります。また、一般入試に挑戦した生徒は177名で、最後まで粘り強い努力をし、栄冠を掴みました。合格を勝ち取った生徒の皆さんには次のような共通点があります。①高い志を持ち、早期から進学目標を設定し継続的に努力を続けたこと。②低学年のうちから学校中心の学習

合格者の横顔

みなさんおめでとうございます。質問は次の①～⑤です。

- ①クラス・文理の別・氏名
- ②今までの合格校
- ③努力したこと
- ④平均学習時間(平日・休日)
- ⑤後輩へのアドバイス



①3A理系 大島直也 ②早稲田大学先進理工学部、東京理科大学理工学部 ③基礎固め、過去問研究 ④平日3時間、休日8時間 ⑤勉強を楽しむ心の余裕を持つべ、とても良いと思います。そうでなくとも、誠実に学問に向き合い、着実に学習を続けていけば結果は自ずと出てきます。受験に留まらず、将来を見据えた学習を心がけて欲しいと思います。頑張ってください。



①3A文系 大野雅也 ②法政大学国際文化学部、中央大学文学部、学習院大学国際社会科学部 ③模試などの結果が出なくても気を落とさず勉強し続けたこと。④平日4時間、休日10～12時間 ⑤受験期は色々と気を落としたり、思い通りにならないこともありますですが、プラス思考を心がけると良い方向に向かうので、がんばってください。



①3B文系 小泉遼 ②法政大学法学部、法政大学文学部、学習院大学法学部、学習院大学文学部、津田塾大学学芸学部、明治学院大学法学部、東洋大学法学部、東洋大学文学部 ③予習復習で基礎を固め、過去問を通して各大学の傾向を把握し対策を立てました。④平日5時間、休日9時間 ⑤基礎を早めに固めておくと楽になります。第一志望に向けて頑張ってください。

を心がけ、授業に集中し基礎基本の力を定着させたこと。③情報収集を行い、自分で調べ、担任のみならず教科指導の先生の適切な助言を謙虚に受け入れたこと。④高大接続改革に伴い、思考力・判断力・表現力が求められる出題が増え、その対策として、従来のように暗記だけに頼るのではなく、基礎知識を応用できる学力を身につけたこと。⑤英語外部試験活用の拡大が続き、英語4技能を強化したこと。つまり、低学年のうちから受験を意識し、授業で基礎学力を定着させ、志望大学に合わせて自分の成績を伸ばしたことが勝因といえます。「低学年でも解いておきたい問題」には積極的に挑戦してほしいと思います。

卒業生の皆さん、これからもチャレンジャーとして目標に向かって努力して下さい。